

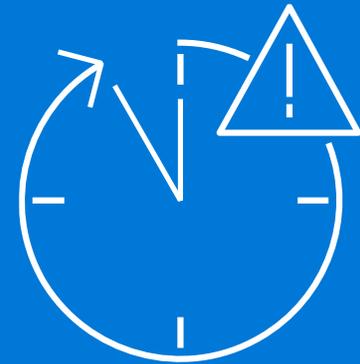
I-Oソリューションフェア 2023

Windows Server 2012サポート終了間近！ 移行の準備は出来ていますか？

日本マイクロソフト株式会社
Azure CPE パートナーサクセスチーム
シニアエコシステムプログラムマネージャー
田中 郁也



Windows Server 2012 は
2023 年 10月 10 日に
サポートが終了します



製品およびサービスの
ライフサイクル情報の検索
Microsoft Docs

今日お伝えしたいこと

1 Windows Server 2012の市況

- 稼働数と移行機会
- オンプレサーバーはどこに移行されるのか？

2 なぜ移行が必要なのか？

- Windows Server 2012を使い続けるリスク
- Windows Server 2022、Azure Stack HCIを利用するメリット

3 何から手を付ける？

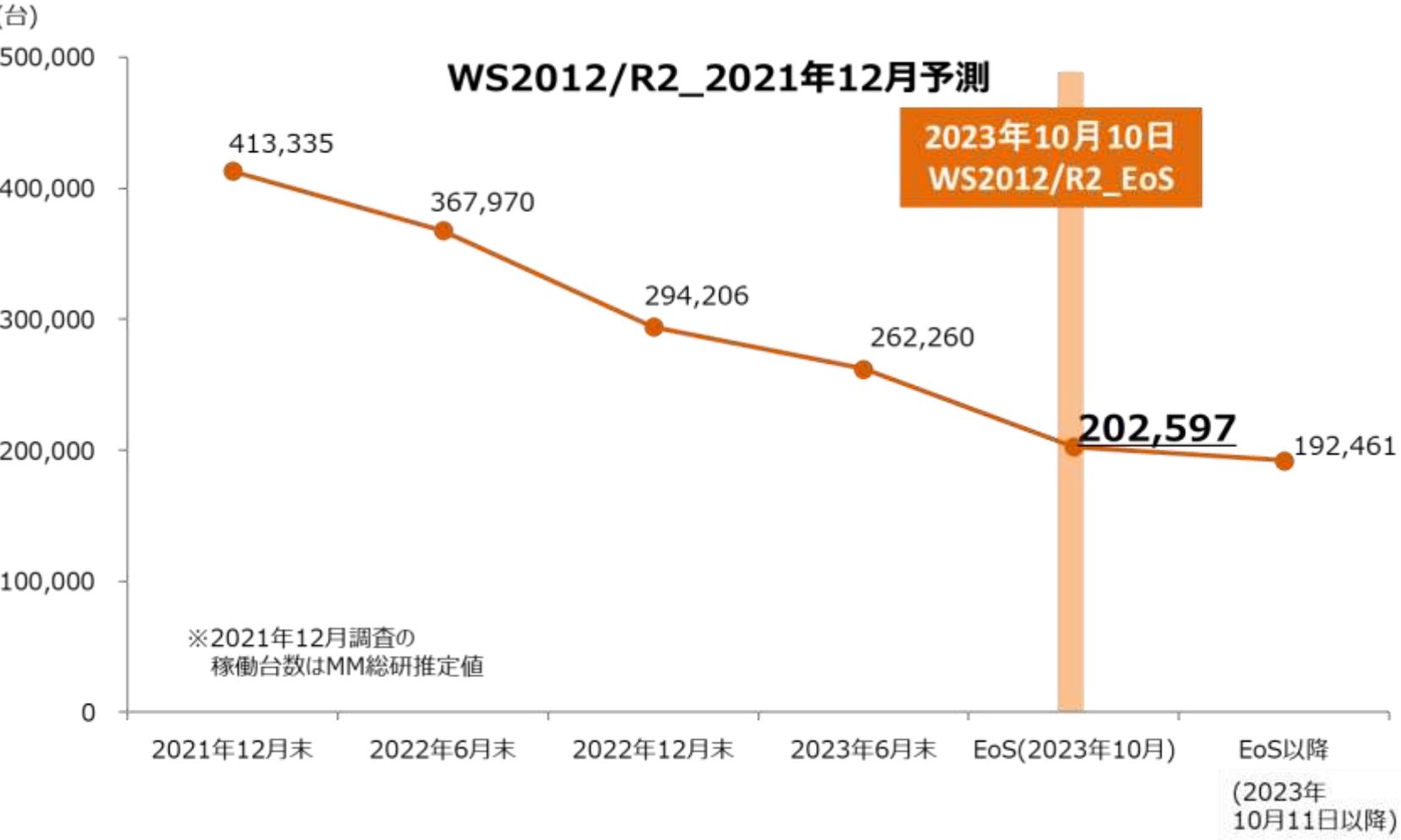
- 移行プロセスの確認
- プロジェクト期間

1

Windows Server 2012の市況

- 稼働数と移行機会
- オンプレサーバーはどこに移行されるのか？

国内Windows Server 2012/R2 稼働サーバー数



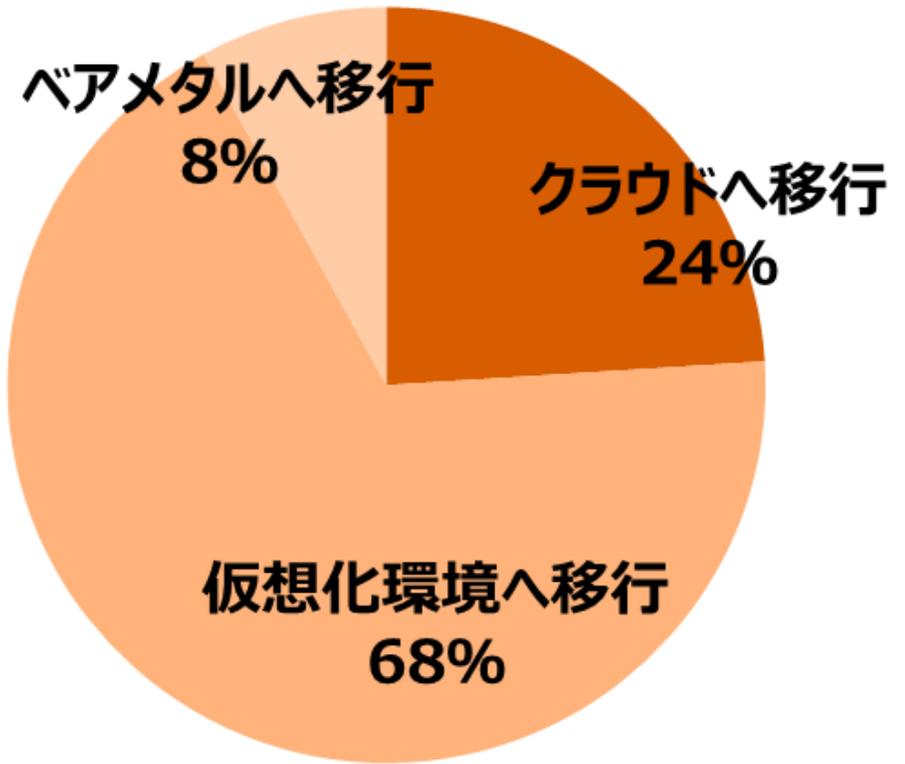
41万台
物理サーバー稼働中
大きなインストールベース

出典：株式会社MM総研「国内Windows Server 2012 稼働台数調査」(2021年12月)



移行先はどうか？

Windows Server 2012/R2
移行調査中企業の移行先調査

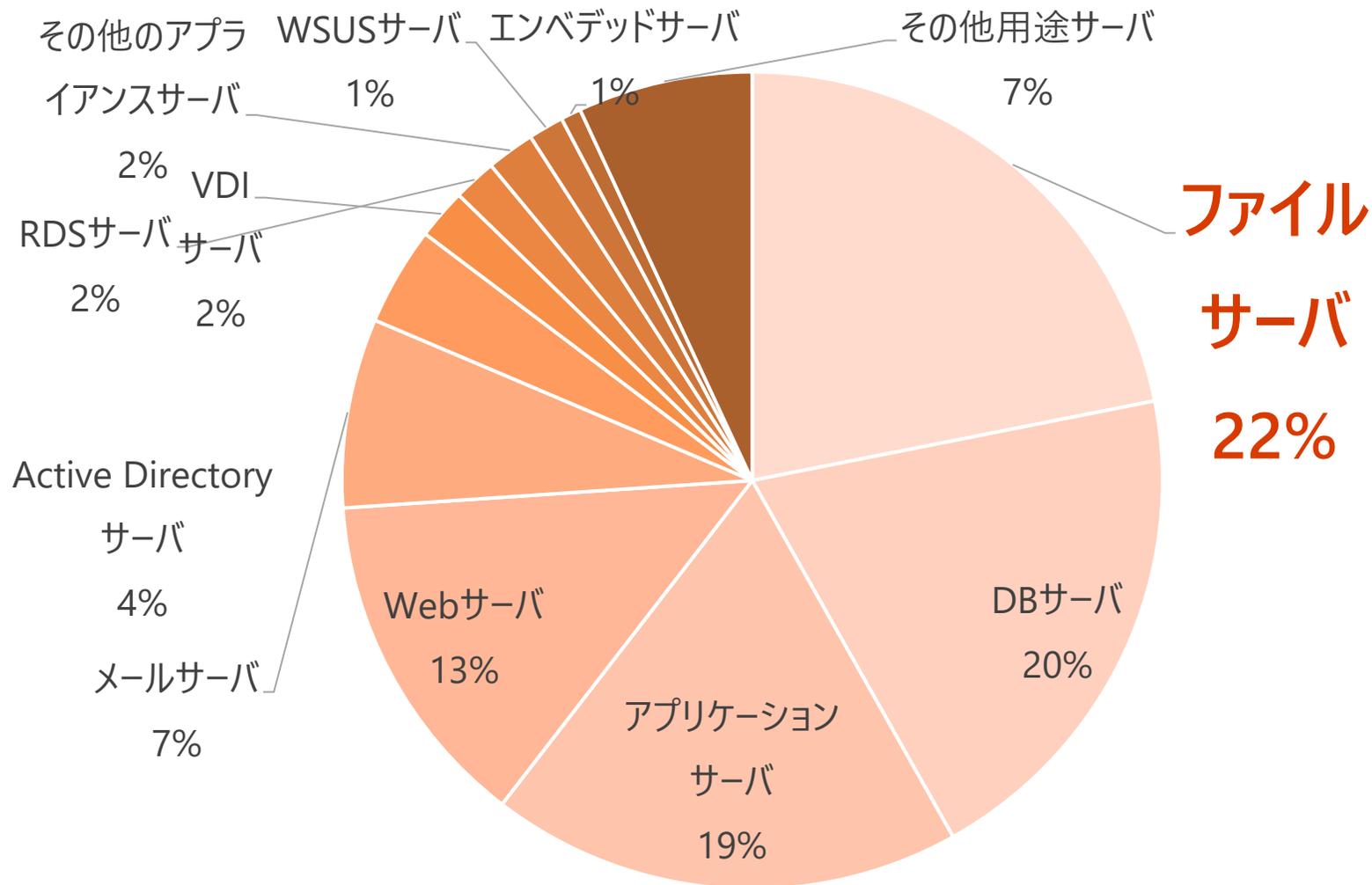


移行先は76%がオンプレミス

出典：株式会社MM総研「国内Windows Server 2012 稼働台数調査」（2021年12月）



Windows Server 2012/R2の用途



ファイルサーバ用途

ファイル
サーバ
22%

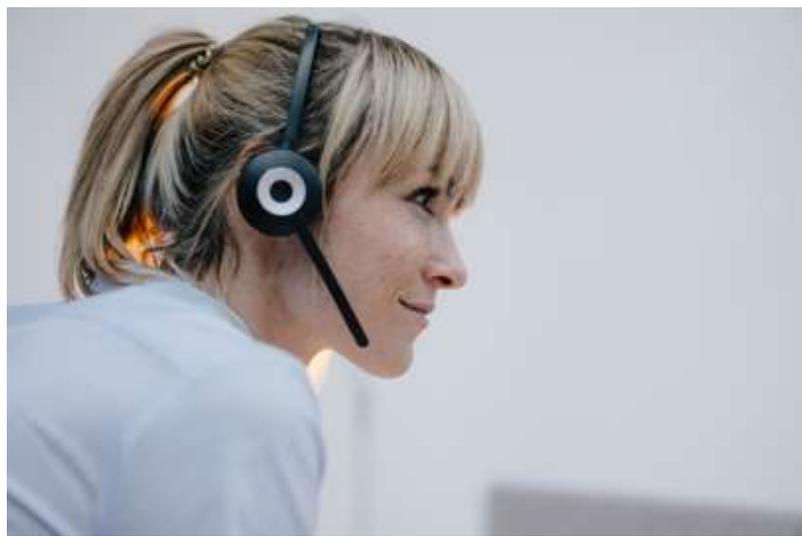
ワークロードでは、常に1位として利用し続けられています。

2 なぜ移行が必要なのか？

- Windows Server 2012を使い続けるリスク
- Windows Server 2022、Azure Stack HCIを利用するメリット

Windows Server 2012を使い続けるリスク

サポート対応のリスク



障害の発生時、対応が困難に

セキュリティのリスク



セキュリティ更新プログラムの
新規開発が終了

ハードウェア故障のリスク



ハードウェアの老朽化による
故障率の向上

具体的な行動を起こせていない理由

	2021年12月調査		2021年6月調査	
	回答数	%	回答数	%
1 社内の人手不足	115	31.4%	140	37.9%
2 予算の確保、経営層への上申理由、理解	94	25.7%	128	34.7%
3 全般的に情報や時間が不足、検討に必要な情報を集めにくい	82	22.4%	72	19.5%
4 アプリケーションの改修コスト、追加開発費等が高い	67	18.3%	76	20.6%
5 移行の必要性はわかるが、自社に合ったサービスがどれかよくわからない	48	13.1%	46	12.5%
6 システムの棚卸、状況調査に工数がかかった、もしくはかかっている	47	12.8%	40	10.8%
7 アプリケーションの動作検証に予想以上の工数がかかった、もしくはかかっている	44	12.0%	50	13.6%
8 情報システム構築業者（S I e r）、販売代理店などの提案、説明の不足	41	11.2%	41	11.1%
9 情報システム構築業者（S I e r）、販売代理店などの対応が遅い、人員がさけな	35	9.6%	45	12.2%
10 その他の理由	15	4.1%	33	8.9%
計	588	-	671	-
母数	366	100.0%	369	100.0%

出典：株式会社MM総研「国内Windows Server 2012 稼働台数調査」（2021年12月）

情報不足や経営層理解のサポートが必要

2021/8/18 Windows Server 2022 リリース



アプリケーションをモダナイズ
ハイブリッド環境にてワークロードをセキュアに実行

Windows Server 2022

ビジネスクリティカルなワークロードをAzure、オンプレミス、エッジで実行



先進的なマルチレイヤーセキュリティ

Secured-core Server

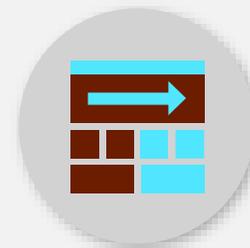
ファイルサーバーの性能とセキュリティ強化

通信の暗号化強化 (TLS, HTTPS等)



Azureとのハイブリッド機能強化

データセンターをAzureに拡張してITを効率化



柔軟なアプリケーションプラットフォーム

ミッションクリティカルな稼働環境の強化

コンテナ利用とKubernetes連携強化

Azure Stack HCIとのBetter together

高機能なハイブリッドファイルサーバー

モダンアプリケーションプラットフォーム

ファイルサーバーの移行メリット (1)

安全なファイル共有

- SMB 暗号化を強化
- Man in the middle 攻撃から保護

AES-256

- コンピュータ接続時、自動で最新の暗号化でネゴシエート
- 柔軟に適用（サーバーごと、共有ごと）
- Group Policy, PowerShellだけでなく Windows Admin Centerからも設定可能

Share permissions
This shares the folder you select on the network using the SMB protocol.

Folder "public" is shared

Network path
\\WS2022-01\public

Local path
D:\public

Share permissions

Name	Permission	
Everyone	Full control	×

Offline files ⓘ
Manual

Compress data

Enable SMB encryption ⓘ

Advanced Settings

Edit Cancel

Windows Admin Center設定画面

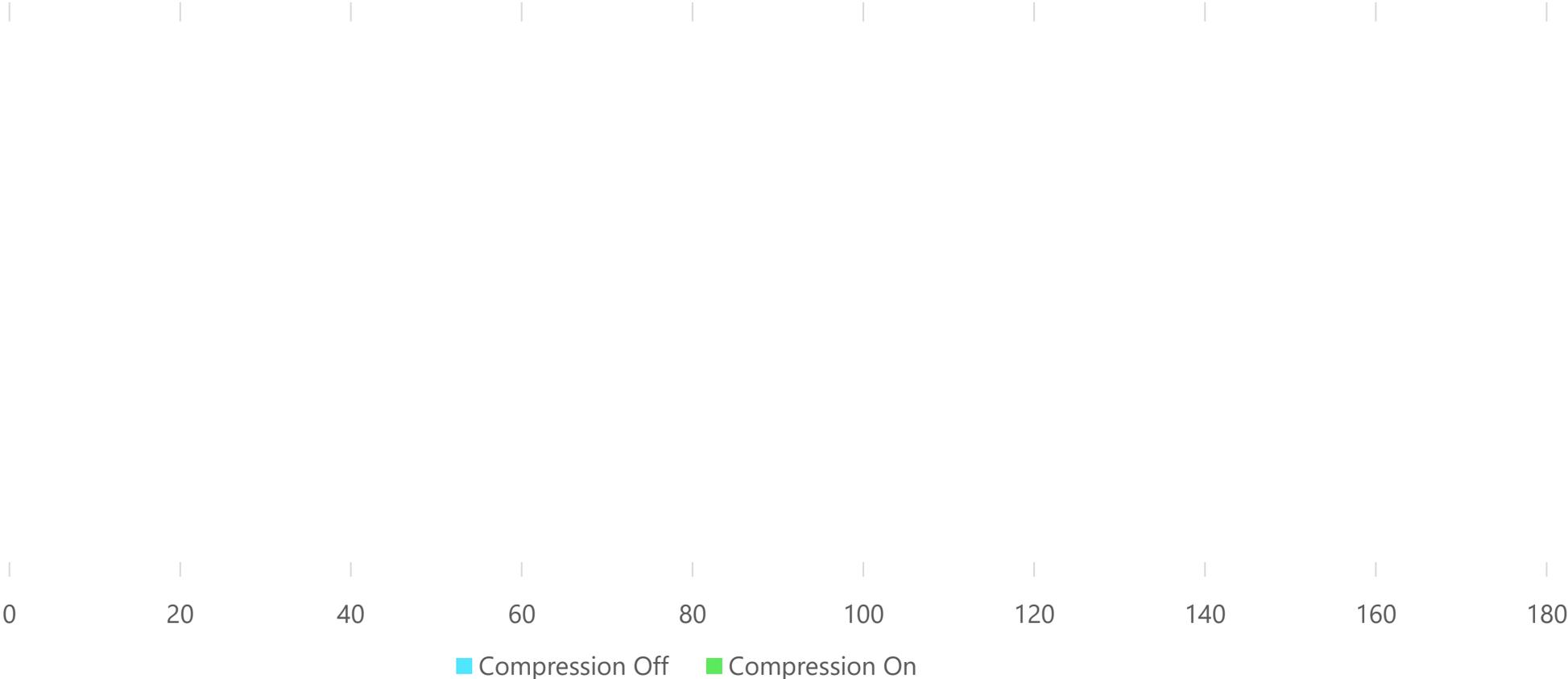
ファイルサーバーの移行メリット (2)

SMB 圧縮による高速通信

～ Windows 11からWindows Server 2022へコピー

20 GB VHD File Copy from Windows 11 to Windows Server 2022 via 1 GbE*

Time (in seconds)



ファイルサーバーの移行メリット (3)

ハイブリッドファイルサーバーの実現

オンプレミスの Azure への拡張

- オフサイトのバックアップと災害対策
- オンプレミスの容量の拡張



Azure Site Recovery



Azure Backup

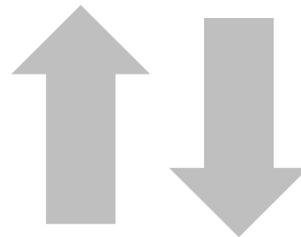


Azure File Sync



Azure

Best cloud for
Windows Server



Hybrid

Extend to Azure
with Azure Arc

Azure からの一元管理

- 更新の一元管理
- クラウドベースの監視
- セキュリティと高度な脅威の防止



Azure Update Management



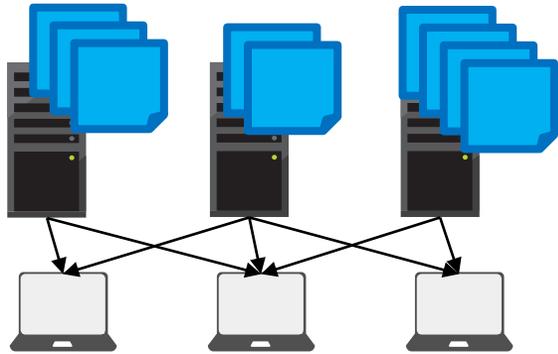
Azure Monitor



Azure Security Center

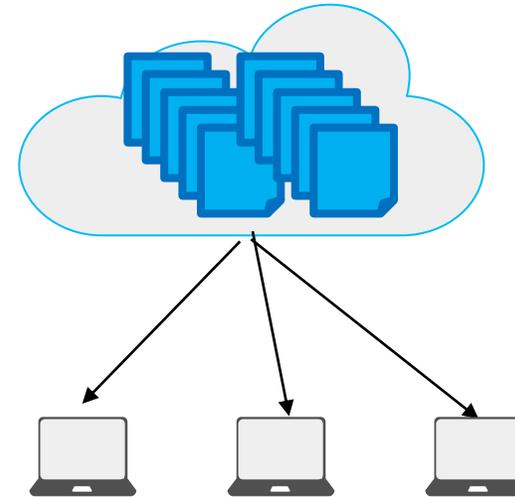
ファイルサーバーの課題

オンプレミスのファイルサーバー



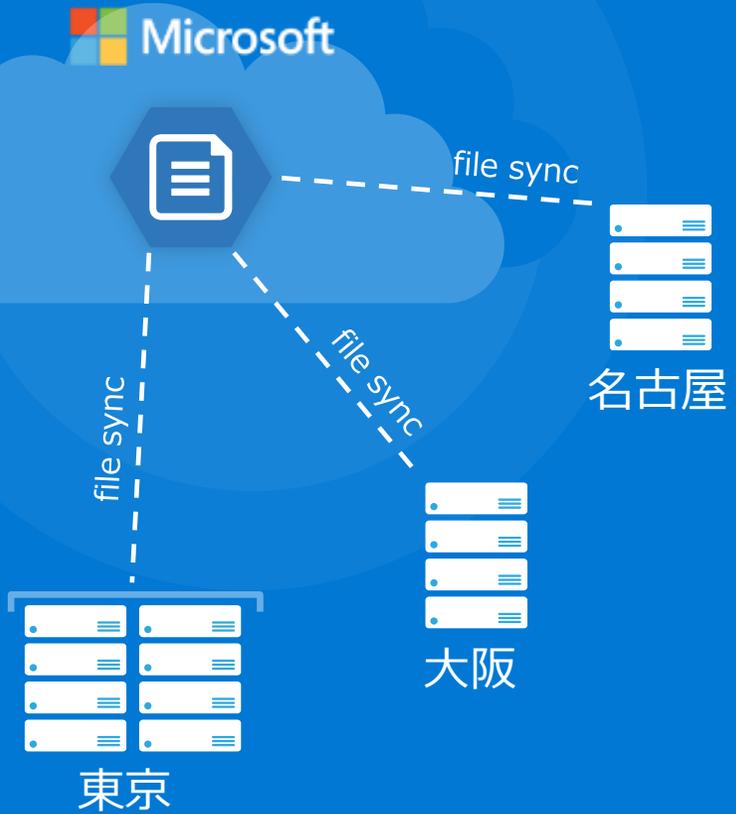
データが分散されて同期運用が大変
データの保護が難しい
利用頻度の低いファイルで容量圧迫
データがローカルにありアクセスが速い

クラウドのファイルサーバー



データの一元管理可能
データ保護もたやすい
インターネット越しでパフォーマンスが出ない

Azure File Sync



Azureでデータを一括管理してサーバー間同期
よく使うファイルをローカルに残し、高パフォーマンス
Azure Backupと連携し、データ保護と災害対策

アプリケーション・DBサーバーの移行メリット (1)

- スケールアップによりこれまで以上にミッションクリティカル環境をサポート
- SQL Server: Better together with Windows Server 2022

Capability	Windows Server 2012/ R2	Windows Server 2016/2019
------------	-------------------------	--------------------------

最大メモリーサポート

最大 4TB

最大 24TB

最大論理プロセッサ数

最大 320 LP

最大 512 LP

アプリケーション・DBサーバーの移行メリット (2)

Azure Stack HCIの特典を利用

サポート切れ移行対象

WS2012 WS2008



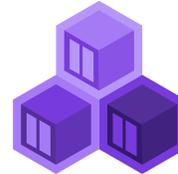
①アップグレード

WS2022 DC/Std
WS2022 Azure Edition



②コンテナ化

Azure Kubernetes Services



③移行前提での延命

WS2012/2008 ESU利用
(拡張セキュリティ更新プログラム
の無償提供)



Windows Server 2012 Host

Server

Azure Stack HCI OS

Server

Azure Stack HCI OS

Server

Azure Stack HCI OS

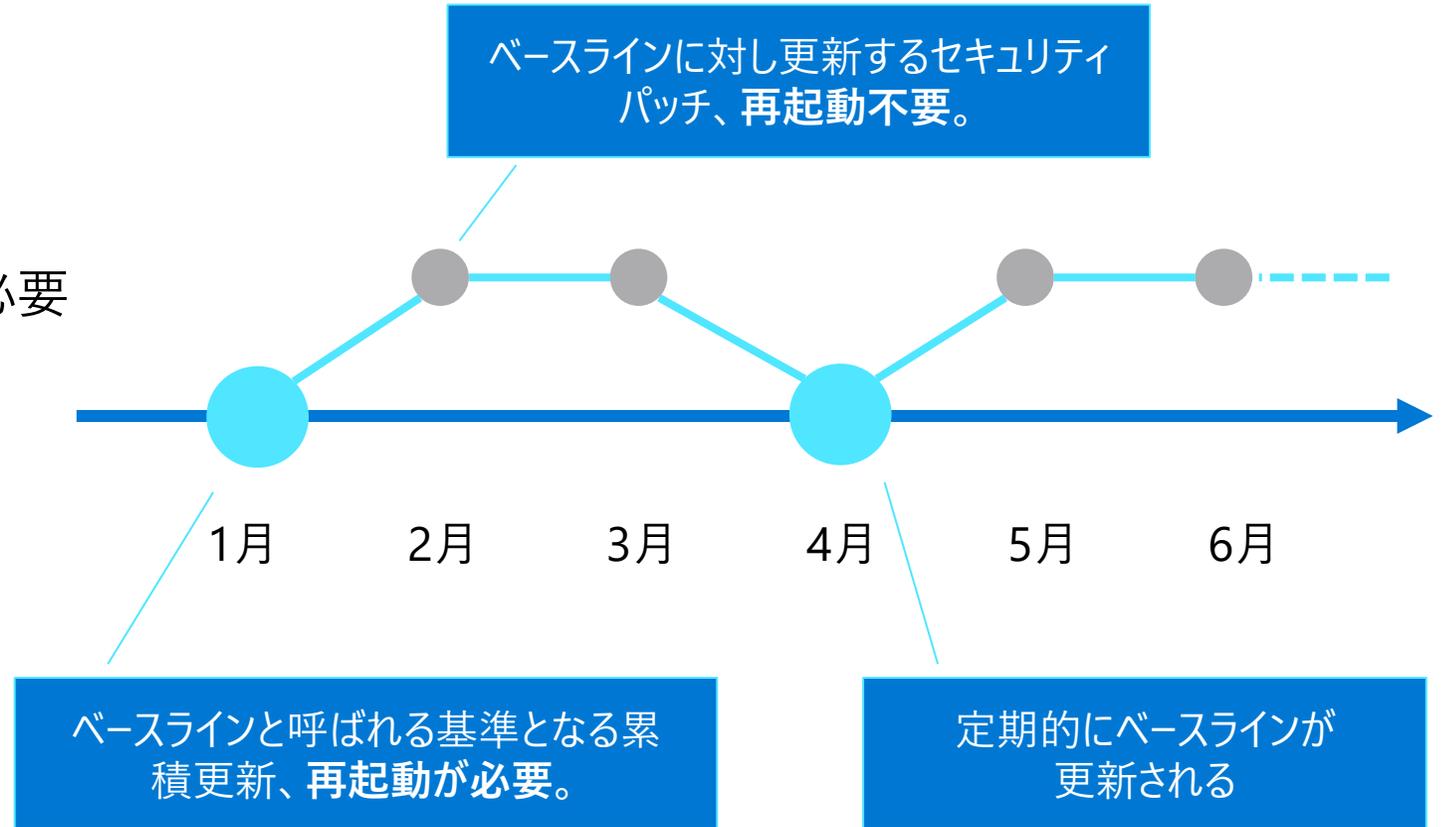
Server

Azure Stack HCI クラスタ

再起動不要のセキュリティー更新

Windows Server 2022 Azure Editionのホットパッチ機能

- 長期連続稼働を容易に
- **管理負荷の軽減**
- 定期的にベースライン適用、再起動は必要



- ✓ 当面はServer Coreが対象
- ✓ Desktopは今後対応予定
- ✓ ベースラインのサイクルは将来的には6ヵ月を検討

3

何から手を付ける？

- 移行プロセスの確認
- プロジェクト期間

移行プロセスの確認

- 優先順位を決めることが大事

1 把握する
ワークロードとソフトウェアを分類しよう



2 精査する
アプリケーションとワークロードをグループ分けしよう



3 移行先を定める
移行先をきちんと見極めよう



4 移行する
移行を実行しよう



項目の精査

タイプ別

サーバーの各役割別



マイクロソフト
アプリケーション



カスタム
アプリケーション



サードパーティー
アプリケーション



重要度別

重要度の高いミッション



優先順位のたかいもの



最低限必要なもの



取り除いて良いもの



コンプレキシティとリスク別

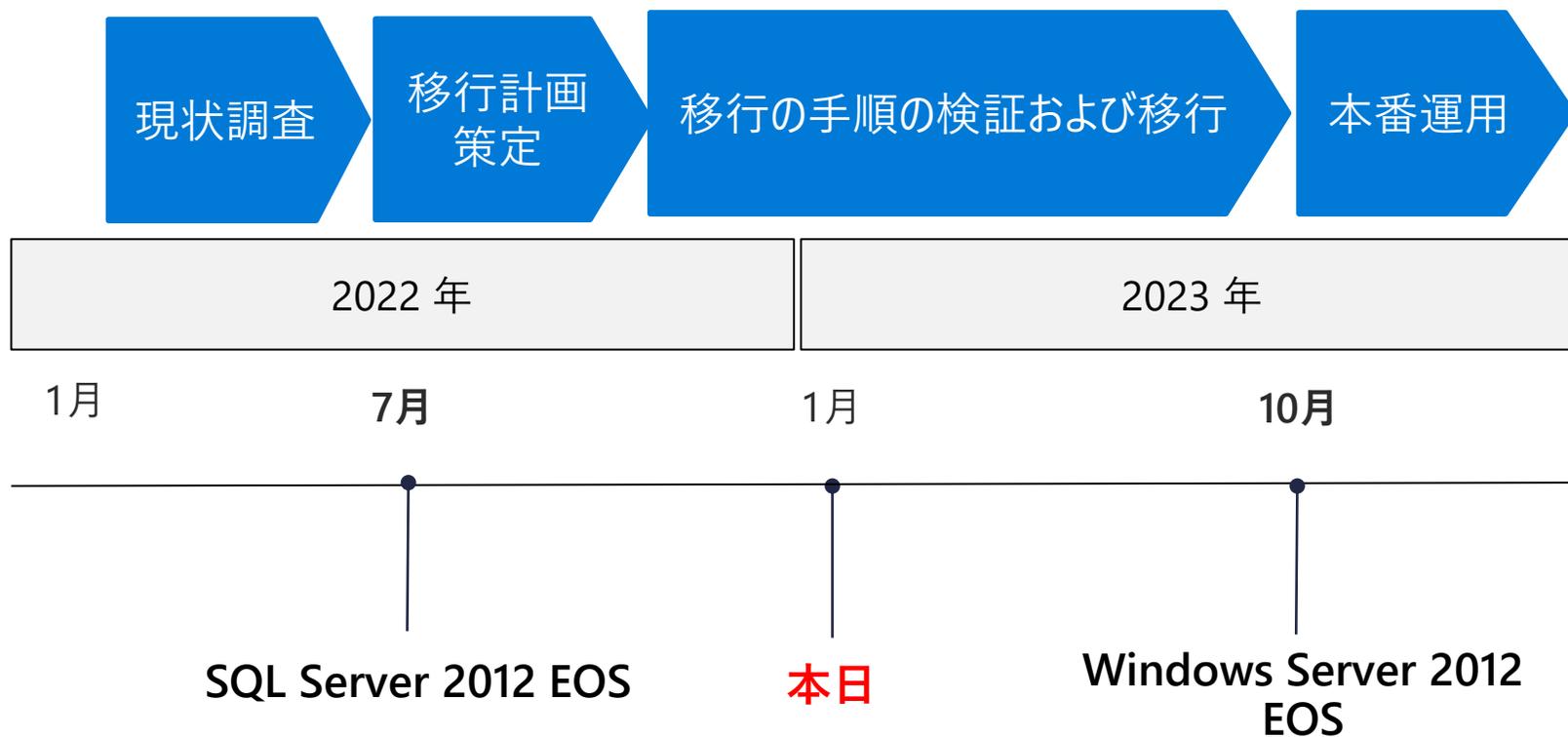
低

中

高

移行スケジュール ～今すぐの対応が必要！～

サーバーの移行は、計画から本番運用まで 1年以上かかります



Thank you